

平成 25 年 1 月 23 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 25 年 1 月 23 日 (水曜日)

午後 2 時 15 分から午後 3 時 35 分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委 員 羽賀 友信 委 員 中村 美和
委 員 青柳 由美子 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長	佐藤 伸吉	子育て支援部長	矢沢 康子
教育総務課長	若月 和浩	教育施設課長補佐	山口 克彦
学務課長	近藤 知彦	学校教育課長	田中 仁
子ども家庭課長	佐藤 正高	保育課長	栗林 洋子
中央公民館長	武樋 正隆	中央図書館長	品田 満
科学博物館長	山屋 茂人	学校教育課主幹兼管理指導主事	関谷 祐二
学校教育課主幹兼管理指導主事	山田 修	学校教育課主幹兼管理指導主事	大矢 慎一

5 事務のため出席した者

教育総務課庶務係長 水内 智慧 教育総務課庶務係 平澤 司

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第1号	臨時代理について（表彰に関することについて）
3	第2号	平成25年度全国学力・学習状況調査への参加について

7 会議の経過

（大橋委員長） これより教育委員会1月定例会を開会する。

日程第1 会議録署名委員について

（大橋委員長） 日程第1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第44条第2項の規定により、羽賀委員及び青柳委員を指名する。

日程第2 議案第1号 臨時代理について（表彰に関することについて）

（大橋委員長） 日程第2 議案第1号 臨時代理について（表彰に関することについて）を議題とする。事務局の説明を求める。

（若月教育総務課長） 被表彰候補者は東北中学校3年生の笠井貴史さんである。功績内容は、第35回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会飛込競技 男子14歳から15歳 高飛込で優勝された功績である。本大会は今年の8月に開催されており、本来であれば11月23日に開催された教育委員会表彰式の対象者となるはずであったが、先日、内申がもれていたことがわかったため、この時期となった。本来であれば、定例会にお諮りしてから表彰を行うところであるが、笠井さんが3年生であることや、先に述べたような事情等を考慮し、臨時代理により事務局で被表彰者として決定し、表彰させていただいた。是非、承認をお願いしたい。

（大橋委員長） 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり承認することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり承認された。

日程第3 議案第2号 平成25年度全国学力・学習状況調査への参加について

(大橋委員長) 日程第3 議案第2号 平成25年度全国学力・学習状況調査への参加について を議題とする。事務局の説明を求める。

(大矢学校教育課主幹兼管理指導主事) 全国学力・学習状況調査は従来から行われている調査である。本調査は、小学校6年生と中学校3年生の児童生徒全員を対象とし、平成25年4月24日に実施する。調査事項は、国語と算数又は数学の教科に関する調査と、学習意欲、学習方法等に関する質問紙調査を行う。この2つの調査を本体調査と呼ぶが、来年度は本体調査に加えて、経年変化分析のための調査、保護者アンケート調査、教育委員会に対する調査の3つを追加して実施する予定である。経年変化分析のための調査とは、国全体の学力の状況について経年変化を把握、分析し、今後の教育施策の検討、改善に役立てるためのものである。調査方法は、本体調査の教科に関する調査と同一レベルの問題を、文部科学省が調査対象として抽出した学校の児童生徒が行う。長岡市の場合は小学校1校が抽出されている。次に、保護者アンケート調査とは、家庭状況と児童生徒の学力の関係を分析するため、児童生徒の家庭における状況や、保護者の教育に関する考え方等について調査するものである。調査対象は文部科学省が調査対象として抽出した、本体調査を受けた児童生徒の保護者である。長岡市の場合は小学校3校、中学校1校が抽出されている。最後の教育委員会に対する調査は、都道府県・市町村教育委員会を対象とした調査である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(中村委員) 保護者アンケート調査は、小学校であれば、抽出された学校の6年生の保護者、中学校であれば、抽出された学校の3年生の保護者全員に対して実施す

るのか。

(大矢学校教育課主幹兼管理指導主事) そうである。

(大橋委員長) 本体調査の対象者は昨年度と同様なのか。

(大矢学校教育課主幹兼管理指導主事) 昨年度は抽出調査だったので、市内の小・中学校の約3割が調査対象だった。

(大橋委員長) 抽出されなかった学校は、学校の希望で調査を実施していたのか。

(大矢学校教育課主幹兼管理指導主事) そうである。

(大橋委員長) 来年度は全学校を対象とする理由は何か。

(大矢学校教育課主幹兼管理指導主事) 文部科学省の方針で、平成19年度から平成21年度は全学校が調査対象だったが、平成22年度から平成24年度は抽出調査となった。しかし、数年に1回は全学校を対象とした調査が必要ではないかという文部科学省の方針で、来年度は全学校が調査対象となった。

(大橋委員長) 経年変化分析のための調査と保護者アンケート調査の対象校は、何か関連があって抽出されるのか。

(大矢学校教育課主幹兼管理指導主事) 直接的な関連はなく、2つの調査はそれぞれ別の学校が行うことになっている。学校規模や地域性を鑑みて抽出しているとのことであり、傾向として、長岡市の対象校はどちらかということと山沿いの学校から抽出されている。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 本日の日程は終了する。次に協議報告事項に入る。報告事項として、12月議会における教育委員会関係の質問事項について、事務局の説明を求める。

(佐藤教育部長) 12月議会における一般質問として、5名の議員より質問があっ

た。藤井議員からは、人的交流を促進させる政策について、日本各地の偉人に関するホームページを管理している他自治体等と相互にリンクを張って、交流してはどうかとの質問があった。このことについて、全国的な流れとして偉人交流のためのリンクを張っている例はほとんど見られないが、現在長岡市として、書籍や郷土史料館の展示等で情報発信をしており、今後、長岡の偉人のデータベース化などを行えば、リンクを張って交流することもできると回答した。また、市民の地域間交流について、小・中学校における取組みに関する質問があった。このことについて、親善音楽会や陸上大会などで児童生徒が一堂に会したり、栃尾地域と寺泊地域の小学生が相互に訪問して交流したり、戦災資料館やアオーレ長岡を校外学習や学習発表の場として活用する取組みを行うなど、子どもたちの地域間交流が行われていると回答した。山田議員からは、脳脊髄液減少症対策について質問があった。脳脊髄液減少症とは、運動等で頭を打ったり大きなショックを受けた場合に、脳を保護している脊髄液が漏れ出す病気であり、めまい、頭痛、倦怠感に襲われ、極端にやる気を失う病気である。このことについて、学校に対して文部科学省からの通知を適切に周知するとともに、昨年8月には養護教諭を対象とした研修会を行った。今後は保健だよりなどを利用して、保護者にも周知していきたいと回答した。

(矢沢子育て支援部長) 続いて山田議員から、子ども・子育て支援関連3法の成立を踏まえ、新制度導入のための準備を進めるべきと考えるがどうかとの質問があった。このことについて、長岡市では同趣旨の「長岡市子育て応援プラン推進協議会」があるが、内閣府が来年度予定している子ども・子育て会議の設置を待って、長岡市版の子ども・子育て会議の設置を進めていきたい。新制度導入のための調査を来年度実施したいと回答した。加藤議員からは、親の学びの場や親に対する教育について質問があった。このことについて、子どもの成長に家庭が果たす役割は重要であると考え、今後も、教育委員会として親に対する支援、子育て教育を着実にやっていくと回答した。

(佐藤教育部長) 広井議員からは、歴史ある公的建造物の保存について質問があった。このことについて、歴史的建物に対する悉皆調査を実施し、歴史的価値が認められた物件については、所有者の同意や今後の活用等を考慮した上で保存に努めている。その中でも特に価値のあるものは、国の登録有形文化財に推薦していると回

答した。

(矢沢子育て支援部長) 木島議員からは、保育所の耐震診断、改修について、保育料の軽減について、保育士の待遇についての質問があった。このことについて、耐震診断、改修については、計画的に行っており、来年度は来迎寺保育園の耐震補強工事を行う予定であると回答した。保育料の軽減については、保育料は現行のまま維持し、保育料の軽減という側面だけではなく、子育て支援の取組みを充実し、子育てと仕事の両立を応援するための環境整備を行うと回答した。保育士の待遇に関する質問は、公立保育園の臨時職員賃金が低いので改善してほしいという内容であった。このことについては、一概に賃金が低いと断定できないので、他市との比較検討を行っていくことや、今年度から忌引きの特別休暇制度を新設したこと、3歳以上児クラスの担任保育士の賃金を増額したことなどを回答した。

(佐藤教育部長) 続いて木島議員から、就学援助制度の周知の強化について、体育系クラブ活動費の就学援助費への追加について質問があった。このことについて、年度始めに児童・生徒に就学援助制度のパンフレットを配布するなど、これまでも周知を行ってきたが、さらに周知方法の工夫を検討したい。クラブ活動は自由参加であり、必要となる経費に差があるため、就学援助制度の対象にするのは難しいと回答した。次に、文教福祉委員会では6名の委員より質問があった。今回から答弁の内容を資料に記載させていただいたので、そのうちの2つについて説明する。藤井委員からは、これからの高齢化社会では、南中学校の生徒が行っている高齢者のゴミ出しのように、全中学校がボランティア等で地域の支援を行う仕組みが必要になると思うが、そのことについてどう思うかとの質問があった。このことについて、既に全中学校が地域の実情に合わせてボランティア活動を行っていると説明した。小坂井委員からは、学校規模適正化について質問があった。このことについて、行政から一方的に合併や統廃合を推し進めることはせず、地域の保護者や住民の合意のもとで取り組んでいると説明した。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(青柳委員) 加藤議員の質問の関連であるが、長岡市子ども会連絡協議会、いわゆる市子連はどこの管轄になるのか。

(矢沢子育て支援部長) 市子連は子ども家庭課の管轄である。

(青柳委員) 市子連には長い歴史があるが、理事の推薦が形式的になっているなどの課題もある。見直しが必要になってきているのではないか。

(佐藤子ども家庭課長) 市子連は公益的な団体であるが市の組織ではないため、理事の推薦方法は市子連が主体的に決めている。

(矢沢子育て支援部長) 市子連については子ども家庭課の管轄であるため、今後も、教育委員会として応援していきたい。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、通学路の合同一斉点検の結果について、事務局の説明を求める。

(関谷学校教育課主幹兼管理指導主事) 全国で頻発した、登校中の子どもたちの列に車が突っ込む悲惨な事故を受け、文部科学省、国土交通省、警察庁が、教育委員会、道路管理者、警察に対して、通学路の危険箇所の合同一斉点検を実施し、安全対策を講じるよう通知を出した。これを受け、長岡市では各小学校から報告を受けた561箇所の危険箇所のうち、警察と学校が中心となり、緊急度の高い160箇所を抽出した。その箇所を長岡市教育委員会、道路管理者、長岡警察署の3者で点検した。点検結果について現地で対策を検討し、それぞれ一旦検討結果を持ち帰り、具体的な準備を進めたうえで、11月7日に長岡警察署に再度3者で集まり、安全対策の方針及び進捗状況の確認を行った。その結果、緊急度の高い160箇所のうち、交通量が少ないなどの理由で23箇所を対策を不要とする箇所と位置づけた。対策が必要な箇所は137箇所となり、その内訳は、11月末までに対策実施済みの箇所が15箇所、今後、対策予定の箇所が117箇所、対策未定の箇所が5箇所となっている。137箇所の主な対策として、教育委員会としては、通学路の変更、スクールバスの運用の柔軟化、近隣施設利用者に対する注意喚起のチラシの配布などを行う。その他の機関の対策としては、横断歩道や信号機の新設等は警察が、それ以外のハード面は道路管理者が対策を講じる。合同一斉点検の実施により3者のネットワークができ、ハード面での安全対策がこれまで以上に進んだと認識している。教育委員会としては引き続き児童生徒の発達段階に応じて、自分の身は自分で守るという方針のもと、危険予測や危険回避の力を身につける指導を行うよう学校現場に働き

かけたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) 対策が必要な箇所の対応について、何年度までに実施する予定なのか。

(関谷学校教育課主幹兼管理指導主事) 歩道の整備については、平成 29 年度までに着工予定と聞いている。

(大橋委員長) 登下校の安全確保のため、引き続きよろしくお願ひしたい。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、平成 24 年度 熱中！感動！夢づくり教育事業「ながおか未来塾」について、事務局の説明を求める。

(田中学校教育課長) 本事業は、行政や企業経営者等の各界のリーダーを特別講師に迎え、中学生に生涯をかけて夢を実現させる「志」を持たせるとともに、長岡の次代を担うリーダーとしての資質や能力を育んでもらうことを目的としている。1泊2日の日程で参加費は1人1,000円である。内容は各界のリーダーの講義を聞く「志」講話と、設定したテーマに基づきグループで本気で語り合ってもらい、塾生協働ワークショップの2本立てとなっている。「志」講話の講師は、森長岡市長、丸山長岡商工会議所会頭、オリンピックメダリストの中村真衣さんをお願いした。参加者は31名で、内訳は男子19名、女子12名である。ほとんどが次期生徒会役員だが、一年生で生徒会に立候補した者や女子卓球部部長なども参加する。初日の夕食はフランス料理のフルコースでテーブルマナーを学んでもらう予定である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 参加費を1,000円に設定した理由は何か。

(佐藤教育部長) 本事業は新規事業であり、「志」を持ったリーダーを育成することが目的であるため、参加にあたって費用がネックにならないように設定した。とにかくまずは参加してもらいたいと思っている。

(青柳委員) 何年か前から、飲食に伴う費用は自己負担になってきているように思う。宿泊費は低く見積もっても、飲食費は実費相当の負担としてよいのではないか。

(加藤教育長) 新規の事業でありながら、そのあたりの検討が不十分ではないのか。長岡の次代を担うリーダーを育成することが目的なのであれば、なおさら、ただ人

を集めるだけの事業であってはいけないと思う。金額が多少高くても、事業の中身が良ければ人は集まるのではないか。

(大橋委員長) 参加者が31名とのことだが、当初から30名前後を予定していたのか。

(佐藤教育部長) 当初の事業計画では40名を予定しており、開催案内を各学校に通知して募集した。参加費については来年度の検討課題としたい。

(羽賀委員) 必ず子どもたちにアンケートをとって、どういう講師を呼んでほしいのか。どういう話が心に響いて自分にプラスになったのか。参加前と参加後で自分の中で何が変わったのか。アンケートを工夫していただいて、次回につなげられるようにしていただきたい。また、子どもたちが講師に評価を与えられるようにしたら良いと思う。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、長岡市子ども読書活動推進計画について、事務局の説明を求める。

(品田中央図書館長) 平成13年12月に子どもの読書活動の推進に関する法律が制定された。この法律の趣旨は、子どもの活字離れの問題が指摘される中、子どもが成長するためには読書活動が大切であり、そのための環境整備を進めていこうというものである。この法律の制定を受け、新潟県が平成15年12月に新潟県子ども読書活動推進計画を策定した。これに伴い、県内市町村において推進計画を策定する動きが出てきた。長岡市ではこれまで、保育園、学校、図書館、関係課ごとに子どもの読書活動を推進、支援してきた。この度、関係課ごとの施策を体系化して整理するとともに、家庭や地域並びに学校・幼稚園等が連携を図り、子どもの読書活動をさらに推し進めるため、子どもの読書活動推進計画を策定することとした。計画期間は平成25年4月から5か年である。関係課である教育総務課、教育施設課、学校教育課、子ども家庭課、保育課、中央図書館が連携して作り上げる。全67事業を年齢や発達段階に合わせて5つに区分して整理した。67事業のうち、新規事業は12事業である。12月26日から1月25日までパブリックコメントを実施している。現在いただいている意見の数は少ないが、専門的知見を持っている方、現職

校長、図書館勤務経験者、子育て中の保護者など、さまざまな方から意見をいただいている。内容も単なる感想ではなく、素案を踏まえた良い意見である。今後のスケジュールであるが、パブリックコメントについて2月14日に長岡市図書館協議会で協議した後、教育委員会3月定例会で報告させていただき、3月末に計画を公表する予定である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 学校関係者からも意見が寄せられたことをとてもうれしく思う。全国的、全国的に課題図書を出すことも大事だと思う。

(品田中央図書館長) パブリックコメントでも同じような意見をいただいている。

(羽賀委員) 私は読書が大好きであるが、そのきっかけは、親がよく本を読んでいたために自宅のいたるところに本があったことである。親と子どもと一緒に読書を楽しむ環境の整備も必要である。

(大橋委員長) その内容も施策の中にも含まれているようである。施策の内容に意気込みを感じることができ、とてもうれしく思う。

(中村委員) 良くできた計画である。普段生活していて思うことだが、最近、病院の待合室に子ども用の本が少なくなったように感じる。将来的に市の施設でなくても本を貸し出して、子どもたちが本と触れ合える機会を増やせば良いと思う。小学校における先生の読み聞かせも効果的である。高学年になっても5分から10分程度の読み聞かせは効果があると思う。

(青柳委員) 図書館における施策の新規事業として計画に記載されている、授業のテーマに沿った調べ学習用図書セットの貸出とは、具体的にどのようなものか教えてほしい。

(品田中央図書館長) 授業で扱うテーマを学校に選んでもらい、そのテーマに関する調査や研究の図書を、100冊から200冊程度セットにして届ける事業である。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、附属機関会議報告について、最初に、第3回長岡市社会教育委員会、長岡市公民館運営審議会について、事務局の説明を求める。

(武樋中央公民館長) 12月7日に第3回長岡市社会教育委員会、長岡市公民館運営審議会を開催した。支所地域のコミュニティセンター整備に伴う地区公民館・分館の今後について、中央公民館の現時点での考えを説明し、委員の意見を聞いた。これまで長岡市では、学区にある公民館や各地区の社会福祉協議会、児童館、児童クラブの機能をコミュニティセンターに一元化して、住民自治による地域コミュニティづくりを進めてきた。しかし、三島地域を除く支所地域の取組みはこれからであり、進捗状況もまちまちである。各地域の歴史や文化はさまざまであるため、住民の意向を尊重しつつ、時間をかけて公民館や分館の機能をコミュニティセンターに移管していきたいと伝えた。委員からは、公民館の機能をコミュニティセンターに一元化した場合、市の所管が中央公民館から市民活動推進課になるが、所管にとられず、変わらない対応をしてほしい等の意見が出た。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 地域選出の社会教育委員の位置づけを尊重して、その意見をよく聞くことが大事である。

(青柳委員) 以前、社会教育委員と話す機会があったが、コミュニティセンターに一元化すると、公民館の時は意見を聞いてもらえたのに、管轄が変わることで以前のように意見を聞いてもらえなくなるのではないかと危惧されていた。それはあってはならないことなので、その部分の対応をしっかり行うべきである。そうすれば一元化しても今までと同様の事業展開ができると思う。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、第2回長岡市栃尾美術館協議会の会議報告について、事務局の説明を求める。

(品田中央図書館長) 会議では平成24年度前期事業報告と平成25年度事業計画案について説明した。平成24年度前期事業報告に関して委員から、「夏休みまいにち工作」が大変好評であり、特に、前年度は無料だった参加費を今年度は有料にしたところ、非常に子どもたちのやる気につながった。栃尾美術館はアクセスのハンデがあるため、入館者数が伸び悩んでいる。話題性のある展示ができれば入館者も増えるため、ある程度の予算の確保が必要だ。などの意見が出た。次に、平成25年

度事業計画案に関して、委員から、来年度の企画展は絵画などの本格的な展示が少ない。サブカルチャーのような周辺企画もあってもよいが、あくまで、本格的な展示を中心にしたうえで、周辺企画を計画した方がよいのではないかなど意見が出た。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 集客のために、美術館内にカフェのようなものを設置してはどうか。

(品田中央図書館長) 館内にスペースはあるが採算がとれるかわからない。今後検討してみたい。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、学校給食優良学校表彰の受賞について、事務局の説明を求める。

(近藤学務課長) 平成24年度新潟県学校給食優良学校として、新町小学校が表彰された。表彰理由は、年間指導計画の工夫や改善を図りながら、学校全体で創意ある食育の実践に取り組んでおり、教科の学習と関連させた献立を積極的に取り入れるなど、学校給食を生きた教材として活用し、児童の食に対する関心を大きく高めていることである。具体的な実践内容は、学年ごとにテーマを決めて行う食育指導、児童が育てた米の活用、地場産物や郷土料理を生かした献立、栄養教諭による食育新聞の発行、食育新聞を活用した栄養教諭による教室訪問指導、給食試食会や栄養相談を通じた保護者との連携などである。新町小学校は給食の民間委託校であるが、このような素晴らしい食育活動、給食運営を行っている。これらの取組みは長岡新聞に掲載され、今後、BSNでも紹介される予定である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 民間委託校でこのような素晴らしい活動がされていることを、もっとPRしてほしい。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。他に報告事項はないか。

(山屋科学博物館長) ロンドンの大英博物館に3か月間展示された岩野原遺跡の火焰型土器を、アオーレ長岡市民交流ホールDに展示する。期間は1月29日から2月3日までである。なお、大英博物館の来場者数は約11万人であり、過去に同スペースで行われた展示の中で、3位くらいの入場者数だったとのことである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。他に報告事項はないか。

(近藤学務課長) インフルエンザ様疾患による登園自粛及び学年閉鎖等の状況について報告する。本日の状況として、保育園・幼稚園の登園自粛が7園、小・中学校の学年閉鎖が4校、学級閉鎖が15校であった。先日の3連休以降、急増したようである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。他に報告事項はないか。

(品田中央図書館長) 3か月ごとに発行している図書館報を資料として配布した。大人向けと子ども向けの2種類配布している。今年は長岡市立図書館の始まりである互尊文庫が開館してから95周年の年である。大人向けの「図書館の窓から」の4ページに特集を組んであるので、是非ご覧いただきたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。他に報告事項はないか。これをもって協議報告事項を終了する。

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員